

神経グループ

所属メンバー

- ・ 齊藤 伸治 (講師、昭和60年卒)
- ・ 白石 秀明 (助教、平成4年卒)
- ・ 朝比奈直子 (医員、平成9年卒)
- ・ 柳生 一自 (大学院博士課程3年、平成12年卒)
- ・ 高橋 有美 (大学院博士課程2年、平成13年卒)
- ・ 伊藤 智城 (大学院博士課程2年、平成14年卒)
- ・ 細木 華奈 (実験助手)
- ・ 香坂 忍 (非常勤、昭和52年卒)

入院患者

のべ計85人

・疾患別

<てんかん・痙攣性疾患> 症候性局在関連てんかん 23名 / 症候性全般てんかん 8名 / WEST 症候群 1名 / 特発性全般てんかん 1名 / 小児良性てんかん 2名

<ミトコンドリア病> MELAS 3名

<神経筋疾患> 先天性筋症 2名 / 筋ジストロフィー 1名

<代謝・遺伝・変性疾患> 遺伝性ジストニア 1名 / 白質変性症 4名 / 染色体異常 2名 / 神経線維腫症 1型 1名 / MCT8 異常症 1名 / カルニチントランスポーター欠損症 1名 / その他 4名

<重症心身障害児> 3名

<脳炎・脳症> 1名

<広汎性発達障害> 4名

<睡眠時無呼吸> 1名

<脳奇形> 2名

<身体表現性障害> 1名

<その他> 15名

・検査別

長時間脳波 : 24例

筋生検 : 3

外来診療

新患者数：120人（約2.3人/週）

月曜・火曜神経外来、水曜新来神経（斉藤）：1627人

火曜神経外来（朝比奈・白石）：337人

水曜神経外来（白石）：787人

水曜神経外来（香坂）：160人

（以上、神経専門外来合計2911人）

神経処方外来（月、水午前）：874人

（以上の総計3785人）（72.8人/週）

脳磁図解析件数：52件（内訳はPE 45件、SGE 0件、IGE 7件、UDE 0件）

頭蓋内脳波検査：2例

当科で評価し、てんかん外科手術に至った患者数：8例

脳波検査総数（平成20年4月から平成21年3月）：一般脳波：外来575件、入院32件

終夜脳波：24件、計631件

治験

レベチラセタム（抗てんかん薬：UCB Pharma）：7名

関連病院神経外来

・ 斉藤担当

天使病院：毎月第2火曜日午後：20人前後

北見赤十字病院：毎月1回木曜～金曜：50～60人前後

小樽市立病院：隔月第3火曜日午後：10人前後

札幌厚生病院：隔月第3火曜日午後：5人前後＋脳波判定

帯広協会病院：3か月に1回金曜日全日：10人前後＋脳波判定

中標津町立病院：6か月に1回木金曜日2日間：10人前後＋脳波判定

・ 香坂担当

千歳市民病院：毎月1回：10～15人前後

室蘭新日鉄病院：毎月1回：10～15人前後

・ 白石担当

手稲溪仁会病院：毎月2-3回木曜全日・午後：20～25人前後

日鋼記念病院：毎月1回第4金曜全日：30～40人前後

千歳市立市民病院：毎月1回第2金曜全日：30～40人前後

市立根室病院：3か月に1回木曜午後～金曜午前：40～60人前後

岩内協会病院：3か月に1回第3金曜午後：1回10～20人

美唄労災病院：年2回火曜午後：10人前後

・朝比奈担当

天使病院：毎月第4木曜日午後：10～20人前後

KKR札幌医療センター：毎月第2、4金曜日午後：10～20人前後

・柳生担当

手稲溪仁会病院：毎月1回第3木曜午後：10人前後

榆の会こどもクリニック：1月1回第4木曜全日：15人前後

札幌市児童相談所：毎月1回第1火曜午後：6人前後

・高橋担当

千歳市立市民病院：毎月第4水曜日午後：10人前後

榆の会こどもクリニック：毎月第1金曜日午後：8人前後

札幌市児童相談所：毎月第3金曜日午後：6人前後

・伊藤担当

手稲溪仁会病院：毎月第1木曜日午前：5人前後

日鋼記念病院：毎月第2火曜日：10～15人

研究室での遺伝子解析・他施設からの依頼分

Prader-Willi症候群の遺伝学的解析：29件

Angelman症候群の遺伝学的解析：14件

14番染色体片親性ダイソミーの遺伝学的解析：4件(14番染色体異常の解析1件を含む)

競争的外部資金・研究費

国立精神・神経センター精神・神経疾患研究委託費（精神遅滞リサーチ・リソースの拡充と病因・病態解明をめざした遺伝学的研究：後藤班）：斉藤伸治（分担研究者）「精神遅滞をきたす遺伝性疾患の分子遺伝学的研究」平成20年度研究経費：1,200千円

論文・著書など

1. Asahina N, Shiga T, MD, Egawa K, Shiraishi H, Kohsaka S and Saitoh S: [¹¹C]Flumazenil PET Analyses of Brain GABA_A Receptors in Angelman Syndrome. J Pediatr 152: 546-549, 2008
2. Egawa K, Asahina N, Shiraishi H, Kamada K, Takeuchi F, Nakane S, Sudo A, Kohsaka S and Saitoh S: Aberrant Somatosensory Evoked Responses Imply GABAergic Dysfunction in Angelman Syndrome. Neuroimage 39: 593-599, 2008
3. Hosoki K, Ogata T, Kagami M, Tanaka T and Saitoh S: Epimutation (hypomethylation) affecting the chromosome 14q32.2 imprinted region in a girl with upd(14)mat-like phenotype. Eur J Hum Genet 16: 1019-1023, 2008
4. Yabe I, Kitagawa M, Suzuki Y, Fujiwara K, Wada T, Tsubuku T, Takeichi N, Sakushima K, Soma H, Tsuji S, Niino M, Saitoh S and Sasaki H: Downbeat positioning nystagmus is a common clinical feature despite variable phenotypes in an FHM1 family. J Neurol 255: 1541-1544, 2008
5. 齊藤伸治: アレイ CGH 診断活用ガイドブック—知っておきたい染色体微細構造異常症. 稲澤譲治、羽田明、蒔田芳男編集 医薬ジャーナル社, 2008
6. 白石秀明、竹内文也、末田慶太郎、朝比奈直子、柳生一自、香坂 忍、中根進児、齊藤伸治: てんかん診療における脳磁場解析の進歩. てんかんをめぐって XXVII: 5-11, 2008
7. 白石秀明: MEG の新しい解析法. Epilepsy 11: 84-86, 2008
8. 石川 丹, 藤崎知美, 菅野優加, 柳生一自, 高橋有美, 白石秀明: 境界例児童の幼児例. 小児科臨床 61: 301-304, 2008
9. 石川 丹、藤崎知美、柳生一自、高橋有美: 境界例児童の1例. 小児科臨床 61: 479-482, 2008
10. 石川 丹、高橋有美: 交通事故後自動車恐怖に陥った1歳10ヵ月例に対する親子精神療法～発達カウンセリングと“好い事作り”療法～. 小児科臨床 61: 1205-1208, 2008
11. 石川 丹、高橋有美、菅野優加、結城 綾、藤崎知美、舟木史恵、田野準子、川辺由香里: 上下逆に顔を描く広汎性発達障害幼児例. 小児科臨床 61: 1665-1668, 2008
12. 石川 丹、柳生一自、高橋有美: 極端な偏食に陥った4歳児に対する親子心理療法. 第33回札幌市医師会医学会誌: 21-22, 2008

学会発表

1. 斉藤伸治、細木華奈、田中藤樹、鏡 雅代、緒方 勤: 14番染色体母性片親性ダイソミーの表現型を呈した14q32.2エピソード変異の一例. 第31回日本小児遺伝学会、東京都、2008/4/24
2. 細木華奈、鏡 雅代、緒方 勤、斉藤伸治: 14番染色体母性片親性ダイソミーと14q32.2エピソード変異の比較. 第2回日本エピジェネティクス研究会、三島市、2008/5/9-10
3. 斉藤伸治、柳生一自、末田慶太郎、朝比奈直子、白石秀明: 14番染色体母性片親性ダイソミーはフロッピーインファントの重要な鑑別診断である. 第50回日本小児神経学会総会、東京都、2008/5/29-31
4. 藤原伸一、岡本伸彦、植竹公明、小野寺隆、柳生一自、末田慶太郎、朝比奈直子、白石秀明、斉藤伸治: 質量分析で迅速に診断できたCDG症候群Ia型の2例. 第50回日本小児神経学会総会、東京都、2008/5/29-31
5. 柳生一自、竹内文也、末田慶太郎、朝比奈直子、白石秀明、香坂 忍、中根進児、斉藤伸治: 発作時磁場解析において周波数解析が有用であった頭頂葉てんかんの二例. 日本生体磁気学会、東京都、2008/6/11-13
6. 高橋有美、石川 丹: フェニトインによる強制正常化の一例. 第272回日本小児科学会北海道地方会、旭川市、2008/7/6
7. Yagy K, Takeuchi F, Sueda K, Asahina N, Shiraishi H, Kohsaka S, Nakane S and Saitoh S: Frequency analyses for ictal magnetoencephalography (MEG) in two cases with parietal lobe epilepsy (PLE). Biomagnetism 2008, Sapporo, Japan, 2008/8/25-29
8. 斉藤伸治、細木華奈、鏡 雅代、田中藤樹、久保田雅也、黒澤健司、加藤光広、植竹公明、遠山 潤、緒方 勤: 14番染色体母性片親性ダイソミースペクトラム: 臨床的遺伝学的解析. 第53回日本人類遺伝学会、東京都、2008/9/28-30
9. 柳生一自、櫻井高太郎、伊藤智城、高橋有美、末田慶太郎、朝比奈直子、白石秀明、武田洋司、澤村 豊、中根進児、斉藤伸治: 第4脳室周囲過誤腫による眼瞼けいれんの乳児例. 第2回日本てんかん学会北海道地方会、札幌市、2008/10/4
10. 中村雅一、矢部一郎、佐々木秀直、須藤 章、細木華奈、斉藤伸治: 2つのミトコンドリアDNA変異(T8356CとA3243G)を認めたミトコンドリア病の1家系. 第2回日本てんかん学会北海道地方会、札幌市、2008/10/4
11. 白石秀明、伊藤智城、高橋有美、柳生一自、朝比奈直子、香坂 忍、斉藤伸治、佐竹明、中根進児: 非定型良性小児部分てんかん症例の経時的変化. 第42回日本てんかん学会、東京都、2008/10/18-19
12. 長尾雅悦、白石秀明、斉藤伸治: 新生児タンデムマススクリーニングにより発見されたカルニチントランスポーター異常症の診断と治療. 第50回日本先天代謝異常学会、米子市、2008/11/6-8

13. Saitoh S, Hosoki K, Kagami M, Ogata T: Maternal uniparental disomy 14 spectrum and differential diagnosis of Prader-Willi syndrome. 58th Annual Meeting of American Society of Human Genetics, Philadelphia, USA, 2008/11/12-15
14. 須藤 章、細木華奈、松岡太郎、伊藤智城、佐野仁美、福島直樹、斉藤伸治、後藤雄一: Leigh 症候群のミトコンドリア DNA 新規変異 13094 T>C について. 第 8 回日本ミトコンドリア学会、東京都、2008/12/18-20
15. 高橋有美、伊藤智城、柳生一自、朝比奈直子、白石秀明、斉藤伸治: 急性の両側眼瞼下垂を呈した 12 歳女児例. 第 9 回北海道小児神経症例検討会、札幌市、2009/1/24
16. 伊藤智城、高橋有美、柳生一自、朝比奈直子、白石秀明、香坂 忍、斉藤伸治、岩崎真樹、中里信和: 左片側巨脳症に対し機能的左半球切除術施行した 1 例. 第 3 回日本てんかん学会北海道地方会、札幌市、2009/2/14
17. 柳生一自、伊藤智城、高橋有美、末田慶太郎、朝比奈直子、白石秀明、香坂 忍、斉藤伸治、小西祥平、古瀬優太、盛一享徳、水島正人、長 和俊、浅野 剛: 段階的動脈塞栓術にて救命し得たガレン静脈瘤 (VGAM) の一例. 第 13 回日本小児神経学会北海道地方会、札幌市、2009/3/14

講演

1. 斉藤伸治 (シンポジスト): Angelman 症候群ーゲノム刷り込み疾患の診断と治療ー. 第 50 回日本小児神経学会総会、東京都、2008/5/29-31
2. 斉藤伸治 (講演): Prader-Willi syndrome: Molecular genetics, diagnosis and beyond. The 6th Korean Prader-Willi symposium、韓国ソウル、2008/9/9
3. 斉藤伸治 (講演): 医療的ケア. 第 1 回医療的ケア学びのセミナー、ホテルユニオン 札幌市、2008/9/21
4. 斉藤伸治 (講演): てんかんとどのようにつき合うか. 北翔養護学校 PTA セミナー、北翔養護学校 札幌市、2008/10/9
5. 斉藤伸治 (シンポジスト): Prader-Willi 症候群と Angelman 症候群の病態と治療. 平成 20 年度大阪大学蛋白質研究所セミナー、大阪市、2008/11/27-28
6. 斉藤伸治 (講演): 小児てんかん: 診断と治療. 真駒内養護学校教員セミナー、真駒内養護学校 札幌市、2009/1/19
7. 斉藤伸治 (講演): 臨床遺伝学の基本: 家系図を書きましょう. 平成 20 年度北海道大学病院臨床遺伝子診療部講演会、札幌市、2009/3/9
8. 白石秀明 (講演): 脳磁場計測を用いた、てんかん診断の展開. 第 11 回北海道臨床神経学研究会、札幌市、2008/9/20

9. 白石秀明 (シンポジスト) : てんかん活動伝播の動的表現を用いた、てんかん診断の試み. 第23回日本生体磁気学会、東京都、2008/6/13
10. Shiraishi H (invited speaker) : Neurophysiology -New and experimental methods- Magnetoencephalography (MEG). The 1st International Epilepsy Colloquium, Marburg Germany, 2008/6/24
11. 白石秀明 (シンポジスト) : Potential identification of epileptogenesis in human cerebral cortex using magnetoencephalography. 第31回日本神経科学大会、東京都、2008/7/9
12. Shiraishi H(workshop) : Magnetoencephalography analysis to demonstrate widespread or multi-focal epileptogenic regions. 16th International Conference on Biomagnetism 2008, Sapporo Japan, 2008/8/28

社会貢献

齊藤伸治

学会委員 :

- 日本小児神経学会 (評議員、社会活動委員、脳と発達編集委員、共同研究支援委員)
- 日本人類遺伝学会 (評議員)
- 日本小児遺伝学会 (評議員)
- 日本小児神経学会北海道地方会 (副会長)

その他 :

- 北海道特定疾患対策協議会 審査専門委員会委員
- 北海道社会福祉審議会臨時委員
- 拓北養護学校校医

白石秀明

学会委員 :

- 日本小児神経学会 (評議員、専門医委員)
- 日本臨床神経生理学学会 (脳磁図検査法に関する委員会委員)
- 日本生体磁気学会 (評議員)

その他 :

- 環境省 : 小児環境保健疫学調査に関するワーキンググループ (委員)
- ほくりく健康創造クラスター広域化プログラム : 「MEG 標準化制定研究プログラム」に関するワーキンググループ (委員)